

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安心して老いを迎えることができる街づくり
事業主体 (連絡先)	認定NPO法人 新田の風 0268-75-7213(FAX0268-75-7214)
事業区分	保健、医療、福祉の事由実に関する事業 安全、安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,055,604 円 (うち支援金: 2,291,000 円)

事業内容

上田市新田地区小規模多機能居宅介護施設「新田の家」と連携しながら、専門職(医師、薬剤師、福祉関係者)、自治会、地域住民等全てを巻き込みながら、家族を含めた地域全体で高齢者を支える街づくりを目標に、認知症、地域交流、介護施設支援、ふれあいサロン、よろず相談所、エンディングノート普及、広報事業とうのチームに分かれ活動。

平成28年度は①認知症ケアレベルアップ研修会(6回コース)②セミナー、シンポジウムを6回③毎週金曜日のふれあいサロンに加え出張サロンも実施④老健施設等へ慰問チーム派遣⑤北小児童と野菜の栽培を協働⑥独自のエンディングノート作成等実施。活動範囲を全市、全県に拡大を企図

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- (1) 認知症サポーター講座(認知症ケアレベルアップ研修) 各回60名強の参加。最終的に6回の講座全て終了し、修了証を授与人数45名。
- (2) 4回のセミナーは各回100名を超す集客。
- (3) 海禅寺サロンは、会場都合もあり60名弱の参加。
- (4) 学ぶ上映会は新聞折り込み(協力; 東郷堂)の効果もあり160名強の参加。
- (5) 毎週金曜日事務所開催の「ふれあいサロン風」は常時午前・午後とそれぞれ10名程度の参加。出張サロンは毎回5~8名の参加がある。
- (6) 自治会、老健施設等の慰問派遣は今年度は計10回(上田敬老園、ニチイケアセンター、新田の家、各自治会老人会等)実施。
- (7) 「いのちの選択」は上田保健福祉事務所で同様の取り組みがなされ、全国各地より同様の取り組みがしたい旨申し出と使用許可願いが寄せられている。エンディングノートも企画が斬新との評価で、今後販売の方向で(附属のCD単体でも)検討して行く。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

象徴的な事柄として、東京都や九州から「いのちの選択」を真似て作りたい、許可お願いしたいの声が届いた事。新田モデルは確実に全国区になりつつある。課題としては同様の活動を行っている社会福祉協議会、地域包括支援センター、保健福祉事務所(センター)、警察、市の福祉課等々と如何に横の連絡を取り合い、コラボして総合力を結集して行く取り組みをして行くかという事。NPO平成として持続的活動をするために今後はこの点について取り組んでゆきたい。



〈講習会風景〉

各講習会には常時100名を超える方々が参加。海禅寺での朗読会、学ぶ上映会も多くの方々に参加頂き、認知症に対する啓蒙活動を行った。

【目標・ねらい】

- ① 認知症への理解と対処方法の周知告知が出来た
- ② 高齢者同士の仲間づくりの輪が広がった
- ③ いのちの選択、エンディングノートが他地区から注目され始めた
- ④ 実際の認知症対策の組織化が図られた

※自己評価【A】

【理由】

- ・各セミナー、シンポジウムの参加者が昨年度で倍増。
- ・ふれあいサロン、出張サロン等仲間づくりで参加者が延べ千人を超えた。
- ・認知症講座が薬剤師会の協力で参加者の輪が広がった。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある